

西箕輪公民館内

ふるさと通信編集局

電話 0265-72-2319

FAX 0265-74-1263



西箕輪



ふるさと通信

ふるさと通信 第141号

令和5年（2023年）

12月 1日 発行

よろしくお願いします

西箕輪地域協議会
会長 唐澤正利 氏



この4月から向山利雄会長のあとの会長を仰せつかりました大泉新田の唐澤正利と申します。もとより非力であり、大役の責任を痛感しているところです。委員の皆様はじめ区民の皆様の皆様のご支援、ご協力をいただき精一杯務めて参りたいと思いますのでよろしくお願いします。

地域協議会とは聞きなれない言葉ですが、いろいろな地域課題の解決に向けて智恵と力を出し合っていく組織で、伊那市では合併後各地域に設置されています。委員は各区長、市議会議員をはじめ各組織の代表から構成された25名で市長から委嘱されます。

現在西箕輪では「県道与地辰野線の整備」「交通弱者の足確保」が大きな課題ということでそれぞれ部会が設置されています。また、協働のまちづくり交付金として西箕輪に150万円ほどが毎年交付され、今年は「与地の伊那節保存会の衣装整備」「大萱の公民館活動事業」「小学校敷地にある原賢一氏顕徳碑の説明文作成事業」に充てられています。

会長の任期は4年ということで長期間お世話になりますがよろしくお願いします。お願い申し上げます。

皆で、安心・安全の西箕輪を

－「令和4年度の刑法犯の発生状況等」について、
坂田西箕輪駐在所署長さんにお聞きしました－



令和4年度の西箕輪における刑法犯は、総発生件数18件（前年度比－1件）でした。これを罪名別に分けると

① 強盗殺人 1件（前年度比＋1件）

② 窃盗犯 15件（前年度比－1件）

この内訳は

・倉庫荒らし1件

・自転車盗1件（施錠あり）

・自転車盗1件（施錠無し）

・さい銭狙い4件

・侵入窃盗1件

・車上狙い2件（施錠無し）

・万引き1件

・非侵入窃盗その他4件

③ 住居侵入1件

④ 器物損壊1件

でした。

特に多かったのが、さい銭狙い4件で、西山神社、熊野三社等でさい銭を盗まれる手口の犯行でした。このような状況のなかにあつて、伊那警察署で令和5年10月、建造物侵入の容疑で住所不定の容疑者を逮捕しました。また、強盗殺人事件については、捜査本部を設置して慎重に捜査を進めてきましたが、令和5年11月、強盗殺人容疑で逮捕しました。

このように西箕輪でも犯罪が発生しています。西箕輪全体が、犯罪を防ぐ大きなバリエーで囲まれ、それが犯罪抑止の力となるような地区となることが大切に思います。防犯協会のデータによると、犯罪の増加は、人間関係の希薄化とも関係しているようです。近所どうし、互いに声を掛け合い、ともにつながりを築いていきましょう。皆で、安心・安全の西箕輪をつくっていきましょう。（安協 清水）

西箕輪地区文化祭開催＜地域の皆さんのおかげで＞

「第39回西箕輪地区文化祭」が、11月18日（土）19日（日）の2日間開催されました。今年は「みんなでつくる文化祭」をテーマに行いました。具体的には

○より広い皆さんからの作品募集とご協力

○子ども生け花・茶道教室の皆さんを中心としたお茶のおもてなし

○フォトコンテストの実施

文化祭の中で「文化祭に作品を出品することが私の励みになっています」「作品を出した甲斐があつて、久しぶりに懐かしい人に会うことができました」「今年は講堂の出品作品のレイアウトに工夫があつて明るくなりましたね」「西箕輪にこんなにたくさん特技をお持ちの方がおいでなんですね」「来年も出品します」「展示された写真を見て、西箕輪にこんな場所があるのかと思いました。」「ゆっくりと西箕輪の風景を見てますね」などの声を聞かせていただきました。

ここ3年はコロナ禍のため実施されなかった「お茶によるおもてなし」では、2日間で100名を超える地域の皆さんが、子どもたちの明るいおもてなしに、温かなひとときを過ごしていました。

このように文化祭を通して、いろんな方の励みになったり、西箕輪を見つめ直したり、交流が生まれていることを知り、ありがたいことだなあと感じました。

2日間で、350人を超える皆さんに来館いただき、盛り上げていただきました。

～文化祭開催にあたり、ご来館いただいた皆さん、作品を提供してくださいました皆さん、会場の受付、会場準備や片付け、鉢花の提供、運営にご協力いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。～（公民館 千賀）



10点

出品いただいた
好評の作品の数々



保育園や学校、介護施設など地区内にある9つの施設に協力して作成いただいた「文化祭」の題字



西箕輪の良さの発掘と発信
フォトコンテスト会場

「2023イーナちゃん駅伝カーニバル」が開催されました ◇地区の部：3位 ◇オープンの部：優勝 ～大健闘のチーム西箕輪!!～

10月9日（月・スポーツの日）、「イーナちゃん駅伝カーニバル」が4年ぶりに伊那市陸上競技場とその周辺にて開催されました。園児2名・小学生9名・中学生7名・一般8名とコーチ・役員の方、総勢30名を超える皆さんで、西箕輪小中学校の周辺を中心に10月から5回の練習を行い、当日に臨んできました。カーニバル当日はあいにくの冷たい降雨の中、地区子どもの部2チームは、不本意ながら健康面を考え棄権しましたが、地区の部3位・オープンの部優勝と大活躍の西箕輪の選手団でした。この大会への参加にあたり、選手・役員の皆さんはじめ、ご理解とご協力をいただきましたご家族の皆さん、練習や大会当日 声援をいただいた地域の皆さんに感謝申し上げます。（公民館 大井）



互いの健闘を讃え合うチーム西箕輪の皆さん

西箕輪マレットゴルフ大会が開催されました ～ともに競い 喜び合って～

35回目になる毎年恒例の「西箕輪マレットゴルフ大会」が、素晴らしい秋晴れの空のもと、9月29日（土）に西箕輪マレットゴルフ場（27ホール・パー108）にて行われました。28人（男性18人・女性10人）のマレットゴルフ愛好家が集い、3人から4人のグループに別れ、日頃磨いてきた腕前を発揮し合い、熱戦を繰り広げました。この大会の開催にあたり、お集まりいただいた皆さん一人一人の健康・競い合える皆さんが集えるということ・大会が気持ちよくできる準備や環境を美しく整えてくださった西箕輪マレットゴルフクラブの皆さんに感謝です。



◇結果・・・優勝：丸山 孝光さん（84打） 準優勝：有賀 健一さん（84打） 3位：西村 宗夫さん（86打）
夢のホールインワンも合計で3回も出ました！その都度、まわりのみんなで声を上げて喜び合う参加者の皆さんでした。（公民館 大井）

新型コロナウイルスに負けず 運動会・山の広場・まつり・お月見の会・紅葉祭

コロナ渦もいよいよ一息、さあこれで大丈夫と思っていた。しかしA3・Bなのにこの似たような名前は、インフルエンザの名前です。コロナウイルスが一息ついたと思っていたのに、マスクがなかなか取れない、手洗いも。インフルエンザが昨年の3倍以上で、2か月早いとかニュースをにぎわせている。しかし西箕輪の子どもたちは元気よく楽しそうに活動を繰り広げています。

◇西箕輪保育園では、9月23日に運動会を保育園の園庭にて行いました。今年は保育園の方の参加人数制限が無くなり、大勢の保護者の方に見に来ていただくことができました。子どもたちはたくさんの声援を受け、走ったり跳ったりと、元気いっぱいの姿を見せてくれました。



9月26日には、消防団西箕輪分団の方が来園し防災講習会を開催してくださいました。防災クイズや消防車試乗・防火衣装試着体験など、子どもたちにとって楽しみながら防災について学ぶ良い機会となりました。季節が移り、野外での活動が思い切りできるようになってきました。お散歩に沢山出かけたいと思います。また、焼きいも餅つきなど、美味しくて楽しい行事も待っています。12月には、発表会があり保護者の皆様に歌や劇を披露する予定です。

◇西箕輪南部保育園では、畑で採れた夏野菜を使ってカレーパーティーをしました。運動会ではリズムやかけっこ、つなひき、玉入れなどを力いっぱい頑張りました。また、幼児さんを中心に、『山の広場』では自然物を使って自由にのびのびと遊ばせてもらっています。お天気の良い日は、未満児さんも原っぱや梅林へお散歩に出かけています。10月には、西山神社まで力強く登っていき、宮司さんに祈願して頂いた千本幟の旗を参道に立ててお参りをしてきました。年長さんは、『脳イキイキ出前講座』で交流を深めたり壮年部の皆さんのチャイルドファームでは全員でサツマイモ堀りの経験もさせていただきました。12月にはおでんパーティーや生活発表会、クリスマス会、年明けにはもちつきや年長さんのそり交流を計画しています。戸外遊びの大好きな西箕輪南部保育園の元気っ子たちは、これからも園庭や山の広場、散歩などでたくさん遊び、丈夫な体を作っていきます！



◇伊那養護学校では、ようやく様々な学校活動がコロナ前にもどりつつある中、夏休み明けには寄宿舎主催の花火大会を西箕輪地区の皆さまもお招きして開催することができました。10月には、本校の文化祭「どんぐりまつり」も一般のお客様を招いて4年ぶりに開催することができました。西箕輪中学校の生徒さんや西箕輪の地域の方々にボランティア参加していただき交流を深め、また活動を支援していただきましたことに感謝しております。コロナの影響もあり、制限された中で学習してきた児童生徒たちですが、これからは地域の良さを感じられるような体験活動や交流などの学習を積極的に進めていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。



◇西箕輪小学校では、小学校3年生企画のお月見の会が開かれました。そこに参加しました堀内くんの作文を掲載します。
「九月二十九日に、みはらしファームの東の草原で、三年生のみんなでお月見の会をしました。

お月見をはじめる前に大根とジャガイモの販売をしました。この野さいは、三年生ががんばってそだてた野さいです。ねだんを決める時も、みんなでよく考えて決めました。お月見だんごは、白玉こと、おとうふと、さとうでつくりました。ぼくは、かん板担当でした。お月見の会のポスターは、アイパット（*）で作りました。さわら商店が開店して、ぼくは大きな声で「いらっしゃいませ。」って言いました。さわら商店も、ひのき商店も、いっぱい人がならんでくれてとてもうれしかったです。その後のぼってきたまん月も、とても大きくて黄色で、とてもきれいでした。まん月を見ながらお母さんが、『おだんご、おいしいね。』って言うてくれたのでうれしかったです。」 *タブレットのことです



◇西箕輪中学校では、9月29日（金）、30日（土）に、第56回紅葉祭が開催されました。テーマは、『閃光～すべての君に輝きを～』。「一瞬だけ強く、明るくきらめく光のように、自分が輝く瞬間、そして友だちが輝く瞬間を見つけてほしい」という願いがこめられています。開祭式で実行委員長の有賀紗菜さんの開催宣言により、紅葉祭がスタートしました。弁論会、学年・学級発表、2部構成で企画された生徒会企画1日目は、有志発表として、ダンス、ギター演奏、歌、コントなどがステージで披露されました。普段の学校では見られない、新たな一面を見せてもらうことができました。

2日目は、吹奏楽部の発表、3学年の発表、生徒会企画、体育祭が行われました。体育祭では、各学級一致団結して練習してきた各種目で、力のこもった熱戦が繰り広げられました。



最後の閉祭式では、ムービーを見ながらこの2日間を振り返り、実行委員長の閉祭宣言によって紅葉祭の幕を閉じました。生徒会役員を中心に、197名全員がそれぞれの場所で役割を果たし、みんなでつくりあげた紅葉祭。大成功でした。（育成会 宮下）

令和5年度「寄合の庭」 ～人生100年時代 豊かな人生を作る～

10月14日「寄合の庭 健康と福祉を考える講演会」が西箕輪ぬくもり館講堂にて、30名を超える参加者で行われました。以下に演題と要旨を載せます。

演題 様々な社会参加から考える介護予防 ～「わくわく」と「誰かと一緒」が豊かな人生を作る～

講師 公益財団法人 長野県長寿社会開発センター 戸田 千登美氏

コロナ禍で、大きく社会が変化した。出かけることが億劫になってきている。しかし、地域の役員をやると認知症になる度合いが低いと言われているように、欠かせないのは人とのコミュニケーションである。各地の実践では、

- ・自宅で栽培し、余った花や野菜の苗を持ち寄り、交換会を行う
- ・昔懐かしいレコードやカセットテープ・映画を持ち寄り、まつわる雑談をする
- ・地域の「ごみ出し」の日に、公民館で30分間だけのモーニングコーヒーを楽しむ
- ・落書き禁止だった壁を「黒板」にし、子ども達の落書きの場とする



などなどたくさんの事例を挙げ、「子どもや大人関係なく、声掛けやあいさつができるようなゆるい関係でいい」「ふだんの暮らしのなかにあるワクワクだったり、好きなこと、楽しそうなことをやることで交流が始まる」というように『楽しみながらゆるい関係で、力を抜いて気軽に集まって何か』やることで、豊かな人生を築いていきませんか？と人生100年時代の生き方のヒントを紹介してくださいました。

今、自分が置かれている場で何ができるかを、ワクワクしながら考えさせられる有意義な時間となりました。

（支所 山口）

